

令和5年度 保護者・生徒・教職員の評価 (R6.2.1付)

		評価項目	保護者	生徒	教職員	平均
確かな学力の育成	1	学校は、お子さん(生徒)に基本的な学習訓練や学習態度の育成を図り、学力向上に努めていると思いますか。	3.29	3.42	3.92	3.54
	2	学校は、お子さん(生徒)にICT(タブレット等)を活用する力や学びに向かう力の育成に努めていると思いますか。	3.29	3.68	3.92	3.63
	3	学校は、お子さん(生徒)の適性や能力を理解し、必要に応じて、それらを伸ばすよう個別の対応や助言を行っていると思いますか。	3.14	3.42	3.92	3.49
豊かな心の育成	4	学校は、全ての教育活動を通して、思いやりの心の育成に努めていると思いますか。(いじめや不登校の問題等も含む)	2.86	3.37	3.92	3.38
	5	学校は、お子さん(生徒)の自己肯定感を高め、自主性を伸ばすことができるように学校行事を工夫したり、環境を整えたりしていると思いますか。	3.14	3.63	4	3.59
	6	学校は、お子さん(生徒)の相談事や悩み事などについて、じっくり聞く機会をもつようにしていると思いますか。	3.14	3.47	3.92	3.51
	7	学校は、お子さん(生徒)が、将来社会人、職業人として育っていくためのキャリア教育(体験活動等)に取り組んでいると思いますか。	3.14	4	4	3.71
たくましい体の育成	8	学校は、お子さん(生徒)の学校生活において、体育の授業や学校行事等を通して、体力向上を図っていると思いますか。	3.14	3.74	4	3.63
	9	学校は、お子さん(生徒)の学校生活において、安全指導や避難訓練等を通して、危険予知・回避の重要性や安全意識の高揚が図られていると思いますか。	3	3.47	3.85	3.44
	10	学校は、お子さん(生徒)の学校生活において、食育や保健指導等を通して、健康に関することや自己管理の大切さを指導していると思いますか。	3.14	3.63	4	3.59
ふるさと教育の推進	11	学校は、運営協議会をはじめ地域の諸団体と連携・協力しながら、地域人材や地域素材の活用に努めていると思いますか。	3	3	3.92	3.31
	12	学校は、学校の様子を家庭や地域等に伝え、家庭や地域と協働しながら教育活動の充実に努めていると思いますか。	3.29	3.58	3.85	3.57
I 確かな学力の育成						
【意見・提案等】 ・オンライン授業や他校との交流を活発にしたいと思った。(生徒)						
【考察等】 ○学力向上に関しては、保護者、生徒ともおおむね満足しており、授業改善等が進んでいると考えられる。 ●ICTの活用については、家庭でのタブレットの使用が学習以外に使用され、学習習慣の定着に不安を感じる保護者がいると考えられる。 ●ICTを使った個別学習が増えたことで、適性や能力に応じた学習が行われているのか実感する場がないと感じている保護者がいるのではないかと考えられる。  ◇「わかった・できた」と感じ取れる授業の構築を目指しながら、基礎的・基本的な学習内容の確実な定着を図っていく必要がある。						
意見等	<p>・タブレットの使用については、家庭に委ねられているため、講話(学校側)等で取り組み方の紹介を行い、統一を図ってはどうか。</p> <p>・項目3については、学校と家庭では、認識にズレがあるため、情報発信をお願いしたい。また、成績表等にコメント欄等を設けてはどうか。</p>					
学校運営協議会の評価			4・3・2・1			

## II 豊かな心の育成

**【意見・提案等】**

特になし

**【考察等】**

○自己肯定感や自主性を伸ばすことができた実感している生徒が約7割と多く、学校行事等の工夫と環境が整備されたと考えられる。

●生徒数の減少により、人間関係が固定化するため悩むことがあるのではないかと心配する保護者が多いのではないかと考えられる。

●体験活動等の充実は図られているが、将来の進路実現に向けて心配される保護者が多いのではないかと考えられる。

◇生徒の心の教育の充実に努め、人間関係や進路等の悩みがあれば気軽に相談できる場をさらに設定していく必要がある。

意見等

・学校へ行く意義を教えてほしい。

学校運営協議会の評価

4 ・ 3 ・ 2 ・ 1

## III たくましい体の育成

**【意見・提案等】**

特になし

**【考察等】**

○本年度は、スポーツフェスタの開催が5月に変更となったが、7割以上の生徒が体育の授業をはじめ体育的行事に積極的に取り組み、体力の向上が図られつつあると考えられる。

○食育や保健指導等の充実が図られたことで、6割以上の生徒が健康に関することや自己管理の大切さに気付くことができたと考えられる。

●本年度は、大きな自然災害等もなかったことから、生徒の安全意識について、心配される保護者がいるのではないかと考えられる。

◇防災を含めた安全教育や食育、健康教育など、さらに命に関する教育の充実を図って行く必要がある。

意見等

・特になし

学校運営協議会の評価

4 ・ 3 ・ 2 ・ 1

## IV ふるさと教育の推進

**【意見・提案等】**

特になし

**【考察等】**

○地域人材を活かした講演や体験活動を企画・運営することができ、地域の人材を有効に活用した行事や体験活動を行うことができたと考えられる。

●コロナ禍の3年間で地域と学校の関係が薄くなった部分があり、生徒にとっては家庭や地域との連携について分かりづらくなってしまったのではないかと考えられる。

●保護者に対して、地域人材の活用についての周知が不足したのではないかと考えられる。

◇学校運営協議会を中心に、地域との連携の在り方(地域コーディネーターの選任など)について協議を進め、家庭・地域との連携をさらに深めていく必要がある。

意見等

・家庭や地域とのつながりをもつ場を積極的に構築してほしい。

学校運営協議会の評価

4・3・2・1